

令和7年度 広島県尾道南高等学校 第3回学校運営協議会 会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和7年10月31日	開催場所	広島県尾道南高等学校 明徳教室
出席委員	委員氏名（役職）[順不同・敬称略] 小川 長（福山平成大学教授） 杉田 真一（尾道市長江公民館長） 有田 靖予（尾道南高等学校スクールソーシャルワーカー） 細谷 博美（尾道南高等学校P T A会長）		
会議の概要	<p>1 配付資料の確認・全体概要説明（教頭）</p> <p>2 開会挨拶、広島県尾道南高等学校からの近況報告（校長） ※本校参加者：教頭、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事、総務保健主任</p> <p>3 令和7年度 自己評価シート（中間評価）について 各分掌主任が、アンケート調査資料等を用いて根拠理由等を説明した。</p> <p>4 令和7年度 自己評価シート（中間評価）に対する委員からの主な意見 ・学校行事に「毎回、自分で考えて積極的に参加している」と最高評価で回答した生徒が4分の1を超えており、他学年との交流がきっかけとなり意欲的に学校生活を送るようになった生徒がいることから、生徒に「体験する機会」を今後とも増やしてほしい。 ・生徒の授業満足度は、昨年同期を上回っている。1年次への支援員の複数配置等の工夫が見られる。今後、教科担当者と支援員の授業前の打合せの質を上げて個に応じた学習支援体制を整えてほしい。行政の支援も期待する。 ・学習の振り返りシートの分析結果から、特に3、4年生の授業満足度の数値が高いのは進級を経験して学習に対する自己の肯定的評価が高まったものと考えられる。引き続き、学習支援を全校の取組としてもらいたい。 ・進路情報の提供は早期から行い、多くの機会を設け、その都度、社会への橋渡しを意識して取組んでいる。2学期以降に講演会やセミナー等を行い、平素の取組に加え、外部講師からの最新の情報に生徒が触れられるよう企画されていることは興味深い。既に意識を持っている生徒とこれから考えなければならないと考えている生徒を合わせると、8割の生徒が更なる意識向上に向けた取組を期待していると判断できる。 ・アンケート調査の分析について、年々精度が上がっている。生徒の意見や感想も取り上げられていて、非常にわかりやすいものになっている。ただ、質問項目については生徒状況が反映されるように更新を続けてもらいたい。</p> <p>5 協議・意見交換 令和7年度自己評価シート（中間評価）は、承認された。</p> <p>6 閉会挨拶（校長）</p>		
次回開催予定日	令和8年3月（詳細は別途調整）		

